

上下水道料金の減免や市営住宅の環境整備などを提案

今回は、決算審査以外の経済建設常任委員会での村上議員の質問を紹介します。

異常な物価高騰から市民生活を守れ

今議会で最も力を入れたのは、昨今の物価高から市民生活を守ることです。

昨年度に続いて

上下水道料金減免を

昨年度、鉦路市は水道料金の4か月分、下水道料金の2か月分の基本料金を免除しました。国の新型コロナウイルス対応地方創生臨時交付金を使った物価高騰対策です。同様の施策は2年度にも行なわれました。全額、国の補助金頼みでしたが、すべての市民・事業者の暮らしと営業を下支えしました。



国の補助金がない中でも、市には自由に使える基金がた

まっています。これを源資に、

上下水道料金の減免をするよう、市長に求めました。しかし、市は「物価対策は国が行うべきもの。独立採算性の上下水道で減免を行えば不公平が発生する」と、今年度の上下水道料金の市独自の減免は行わないと答弁しました。

オール電化市営住宅の電気代補助

電気代の高騰は本当に大変です。国が支援していることになってはいますが、それにしては高過ぎます。低所得者が多く住む市営住宅のなかにもオール電化の住宅があります。「家賃より電気代が高い」との悲鳴がでています。

「せめてオール電化の市営住宅に住む世帯にだけでも、電気代の補助ができないか。なかには、住んでいた住宅の建

て替え工事のため、オール電化の市営住宅に住み替えせざるをえない入居者もいるのだから」と求めましたが、やつ

草刈り、除雪もままならない市営住宅

春採の市営住宅の望洋団地でひどいところがあるので見てほしいとの声をいただき、現地を調査しました。

場所は望洋団地のはまなす1号棟。戸数も少なくエレベーターもありません。空き家もかなりありそうです。

まず驚いたのが雑草が伸び放題なこと。シカが群れで雑草を食んでいたこと。草丈に隠れ、道路から玄関が見えませんでした。見るに見かねた



ぱりこれもやらない。物価対策は国がすべきものの一点張りです。



近所の方が、機械で草刈りをしてくれたそうですが、それすら雑草に隠れてわかりませ

ん。

草刈りは、入居者が自治会費で対応することになっていますが、空き家が増えて自治会費が集まらない、入居者も高齢化で自助努力ではどうにもならないのお話でした。空き家が増えたら、市は廊下やエレベーターの電気代分の共益費は支援していますが、草刈りや除雪費用は支援して

音別、大楽毛人道こ線橋の早期の架け替えを

音別駅と大楽毛駅の人道こ線橋が老朽化しています。音別についてはすでに新しい橋に架け替えることが決まっていますが、まだ本格的な工事にかかれずにいます。早く工事に入るよう要求しました。

大楽毛のこ線橋も昭和53年供用開始ですから

そろそろ架け替えるべき時期に入りつつあります。当面の維持管理をしっかりと行い、修繕すべきところはしっかりと直すこと。あわせて、早急に架け替えの計画を持つよう求めました。

いません。

市が補助金を増額すること、高齢化に見合った親身なサポートが必要になっていきます。